

2025年度 第5回 認定再生医療等委員会
～会議記録概要～

日 時：2026年3月2日（月） 12時00分～12時45分

場 所：2号館3階A会議室

参加者（敬称略）：

<a-1 委員>	岡野ジェイムス洋尚（委員長）、村橋睦了 [※] 、 <u>長村登紀子[※]</u> 、 <u>山口照英[※]</u> 、 小林博司 [※]
<a-2 委員>	<u>加藤陽子[※]</u>
<b 委員>	<u>三神光滋[※]</u> 、 <u>有江文栄[※]</u>
<c 委員>	<u>柏木明子[※]</u> 、 <u>檜垣君子[※]</u>
<事務局>	千田

※は web にて審議に参加

a・1 委員：医学又は医療の専門家であって再生医療等について十分な科学的知見及び医療上の識見を有する

a・2 委員：a-1 委員以外の医学又は医療の専門家

b 委員：医学又は医療分野における人権の尊重に関して理解のある法律に関する専門家又は生命倫理に関する識見を有する

c 委員：a-1、a-2 及び b に掲げる者以外の一般の立場

下 線：外部委員

認定再生医療等委員会規程（第5条）に基づき、再生医療等提供機関の管理者から学長宛に以下の課題の審査の申請があり、認定再生医療等委員会を開催した。会議に先立ち、岡野委員長から、本学委員会規程第11条の会議成立要件を満たしていることが報告され、本日の審議においては委員に当事者がいない事が確認された。

I 総括報告書及び概要

課題名：滲出型加齢黄斑変性症に対する WT1 樹状細胞ワクチン療法

1. 総括報告書概要

<実施症例数>2例

<要約>2週間間隔での継続的な WT1 ペプチドパルス樹状細胞ワクチン投与が疾患活動性のコントロールに寄与し、加齢黄斑変性患者における既存治療を補完する戦略となり得る可能性を示唆している。

事務局より以上の総括報告書及び概要について説明がなされた。また、本研究の結果については、研究者が論文投稿を進めており、早ければ本年5月頃に公開される予定であるとの説明がなされた。

2. 審議結果

承認

理由：本総括報告書の内容を精査した結果、研究計画書に基づき適正に実施され、得られた研究結果の解釈および考察は科学的妥当性を有するものと認め、これを承認する。

II 認定再生医療等委員会委員、事務局担当者の教育研修

山口委員より「再生医療における微生物汚染を防止するための安全対策」の講演をいただいた。

また、事務局より「2025 年度認定再生医療等委員会教育研修会聴講報告～パネルディスカッションの部～」の聴講報告が行われた。

次回開催予定

2026 年 5 月 11 日（月）12 時～

以 上